

第7回プロテオーム医療創薬研究会

実施日	2009年1月5日(月) 15:00~17:30
場所	横浜市立大学福浦キャンパスヘボンホール
来場者	人数: 学生及び研究者 38名
内容	<p>学生、大学院生及び若手研究者を対象にし、2名の若手研究者を講師とした講演会を開催した。</p> <p>1) 「腎細胞癌における癌化シグナルのネットワークを標的とした治療法の開発」 横浜市立大学医学部准教授 中井川 昇 近年、腎細胞癌の発癌・進行において重要な働きをする蛋白質が明らかになり、これを標的とした新たな治療法が成果を挙げているが、同時に特定の蛋白質のみを標的とした治療の限界も明らかになってきた。そこで、癌細胞内の情報伝達系を俯瞰的にとらえ、癌化シグナルのネットワークそのものを標的とした治療法の開発を進めている。その研究内容を紹介した。</p> <p>2) 「癌の悪性化・進展に関わる分子の機能解析とその新規治療法への応用」 横浜市立大学医学部准教授 矢澤 卓也 臨床応用可能な新規治療法・創薬に結びつく結果を得るために、癌の浸潤・播種・転移に関わる分子としてIGFBP-2、VEGFファミリーおよびその受容体ファミリー、腫瘍免疫に関わる分子としてCIITAにターゲットを絞り研究を進めている。現在までに得られている知見及び今後の研究計画について紹介した。</p>